

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名					市制50周年事業					②事業番号		1316							
③事業類型		3. 政策推進事業				④開始年度		令和	元	年度	⑤終了予定年度		令和	2	年度	設定なし			
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱		計画等		○		その他		法令等の名称			
⑦実施手法		直営		全部委託		○		一部委託		補助・負担		その他							
⑧関連予算科目コード				款		2		項		1		目		9		細目		17	
⑨担当部名				⑩担当課名												会計		一般会計	
総合政策部				政策推進課															

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市内外の市民	① 周年事業に参画した人数	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
泉南市は、1970年(昭和45年)7月1日に市制を施行し、2020年(令和2年)に市制施行50周年を迎える。様々な記念事業を展開することで、市内外に本市の魅力を発信し、一体感を持って50周年を盛り上げることで、「泉南市」を広くPRしていく。 ※令和元年度の直接事業は、①ロゴマーク作成②市歌楽譜作成③プレ事業としての中学校連合文化祭④市勢要覧作成を行った。 ※令和2年度の直接事業は、新型コロナウイルスの影響もあり最小限の事業を実施することとなったが、①NHKラジオ公開録音②中学校連合文化祭の2事業を展開した。	① 実行委員会等の会議数	件
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
本市が市制施行から半世紀(50年)経過したことを認識し、市への愛着と郷土愛を育み、より一体感を持ち50周年を盛り上げ、市制施行50周年を市内外の市民とともに祝う。	① 実施事業数	事業
	① 計算式	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
50周年事業に参加し、市政に関心を持ってもらうことで、市の発展につながる。	政策(章)	6 みんなでまちづくりに取り組むまち
	施策大(節)	1 市民が力をあわせるとともに、行政とともにまちづくりに取り組む参画と協働のまちをめざします
	施策中	1 市民参画・協働の推進
	施策小	2 協働の仕組みづくり

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	周年事業に参画した人数	人	0	1,000	800	0	0	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	実行委員会等の会議数	件	0	11	0	0	0	
活動指標②								
活動指標③								令和元年度に50周年記念プレ事業として、中学校連合文化祭を開催。
成果指標①	実施事業数	事業	0	4	2	0	0	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員							事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.10	0.02	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費							
財源内訳	人件費(投入人員*単価)	千円	0	771	153	0		令和元年度から機運を醸成するため、50周年記念プレ事業を実施。
	直接事業費	千円	0	570	396	0		
	総事業費	千円	0	1,341	549	0		
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	500	396	0		
	一般財源	千円	0	841	153	0		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	1970年(昭和45年)7月1日に市制を施行し、2020年(令和2年)に市制施行50周年を迎えるため、前年度の令和元年度から事業を展開し、機運を醸成するため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	節目となる50周年の2020年(令和2年)に向け機運を醸成していく予定であったが、新型コロナウイルスの影響から事業を縮小せざるを得ない状況となった。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	新型コロナウイルス感染症の影響により、最小限の事業を実施した。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら①NHKラジオ公開録音②中学校連合文化祭の2事業を展開し、2020年に50周年を迎えるということを周知啓発できた。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	次回の周年事業においては、庁内や市内の各種関係団体と連携することで、広くPRすることが出来る。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	次回の周年事業においては、連携を行うことで、より一層の効果を得ることが出来る。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	市内の各種関係団体に「市制50周年記念」の冠称を依頼することでコストをかけずに広くPR出来る。
--	----------------	---

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	B	2020年が50周年という節目の年であるが、新型コロナウイルスの感染防止対策を図ったうえで実施できる事業を実施した。 10年後の市制施行60周年には様々な記念事業を展開することで、市内外に本市の魅力を発信し、「泉南市」を広くPRしていきたい。 A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ウ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(R2 年まで) (年 から) (年 から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—